

風まち・潮まち・港町

みたらじ通り

ワシらの町に
口ヶ隊が
やつてきた

●特集 映画「旅の贈りもの」口ヶレポート

●御手洗ものがたり
「旅の贈りもの」が残したもの

●なんでも伝言板
●せとうちおさんぽクルーズ
●大長名物「大長みかん」のみかん狩り

豊町観光協会

みたらじ通り
2006.10月 NO.18
10月11日

風町号

向風

みたかの通志
2006.10 NO.18

[表紙の写真]

御手洗のメインストリート。江戸の町並みが残る常盤町通りでのシーン。映画では写真中央左、小路から出てくる女性が主演の櫻井淳子。隣が元郵便局長演じる大滝秀治の後姿。映画では二人だけのシーン。こんなに大勢のスタッフに囲まれている。



千砂子波止でのシーン。大きなクレーンとレールが登場した。向こうに見えるのは平成の高どうろう。

この台詞は映画「旅の贈りもの」の千砂子波止でのロケシーン。主人公「由香」を演じる櫻井淳子と元郵便局長「真鍋」を演じる大滝秀治のかけあい。かつて千砂子波止のこと、御手洗のことをここまでわかりやすく表現してもらつたことはあるだろうか。映画のチカラはすごい。広島弁も嬉しかった。たくさん思い出をありがとう。(編集室)

由香「へえ…」
真鍋「つまり、この町は、昔から他所から来よる人らを、持て成して来た歴史があるんじゃよ」
由香「優しい町なんですね…」
真鍋「この国には多くの人間がおるのに、こうしてこの町で出会うつちゅうのは、不思議な縁の取り成しじやろ。そうじやけんワシリはそれを大事にしてきた…困つたことがあつたら、助ける。せめて気にかけると…」
由香「…」

真鍋「昔の人はよう言つたもんじやな。旅は道連れ、世は情け、袖振り合うも、他生の縁つちゆうて…ははは…」

映画に登場した幻の名列車「ガハチ(EF58-150)」。いろんな悩みをもつた旅人がこの列車で風町(御手洗)にやつてきて癒されて戻つていくというストーリー。



御手洗の洋館「越智医院」の窓ごしに撮影を見守る地元住民。みなさんとても楽しそうだった。今回の映画では、実在する医院や旅館など、名前もそのまま使われた。

御手洗は“風町”という
山陰の港町に！

「旅の贈りもの」の口げ期間中、御手洗は映画スタッフや俳優陣らであふれがえた。いつもは静かでのんびりとした瀬戸内の港町がとても活気づいた。ハイ、カーット、大勢のスタッフが囲む中、二つのシーンが何回も何回も繰り返えされる。千砂子波止、若胡子屋跡、満舟寺、七郷館跡など、御手洗の主要な観光スポットもほとんど登場した。まるで御手洗のガイドブックのような映画だ。写真は歴史の見える丘公園に行くおいちゃん坂でのシーンだ。

●特集 映画「旅の贈りもの」ロケレポート





いい出でえりありがとう!

俳優陣

豪華なキャスト勢も
この映画の魅力のひとつ
御手洗の町並みをバックに
迫真の演技やステキな笑顔
忘れません!



網干宗輔役 細川俊之

美声の俳優として有名。妻に先立たれた初老の男を演じている。現在は大阪芸術大学舞台芸術学科の教授である。



真鍋善作役 大滝秀治

「風町」の元郵便局長(80歳)の役。町に来た旅行者を大歓迎しているが、本人も1925年生まれで今年81歳! 大ベテランの演技がひかる。



坂入喜役 七咲友梨

「風町」にある旅館の娘役で登場。「美しい罠」にて櫻井淳子と共演している。



浜川翔太役 小堀陽貴

「風町」で華子に逆上がりを教えてほしいと頼む少年。逆上がりができる頃に迎えに来るという父親を待っている。



おばちゃんたち
大阪の
旅客として登場



本城多恵役 榎山文枝

由香や華子たちをあたたかく見守る初老の夫婦役で出演。NHK朝の連続テレビドラマ「おはなはん」など多くのドラマや舞台に出演。



浜川裕子役 正司歌江

漫才グループかしまし娘の長女。翔太の祖母を演じる。釣りが好きな歌江さんは口ヶ待ちの間、よく釣りをしていたそうだ



本城喜助役 梅津栄

船大工で多恵の夫役を演じる。名脇役として有名。隣は舞台女優の楠本光子。



若林陽一役 太平シロー

リストラされ、家族にもうとまれたサラリーマン役を好演。漫才で有名だが、喜劇役者・放送作家など幅広い分野で活躍中。コメント:乙女座はいい劇場ですね。私が所属している劇団でも、是非一度ここで公演してみたいですね。



お~しい
マーボーナスを
作るわよ



桐ヶ谷華子役 多岐川華子

映画デビューとなる期待の新人。母親は女優の多岐川裕美。心を閉ざした女子高生役を熱演する。

コメント:島は初めてです。皆さん優しくて居心地がいいです。



羽村ミチル役 黒坂真美

「風町」を訪れる旅人のひとり。タメントを夢見てみていた彼女は、期待に胸を膨らませて行先不明の旅へ。



沢渡由香役 櫻井淳子

恋人の浮気を目撃し列車に飛び乗ってしまう化粧品会社のOLを演じる。代表作に「おみやさん」「ショムニ」などがあるが実は映画初主演。コメント:古い町並みと海との景観がよくマッチしていて、ゆっくり歩きたくなる町よね。



越智太役 德永英明

映画初出演、「風町」でただ一人の町医者を演じる。本作のために書き下ろした新曲「Happiness」で物語を盛り上げる。

コメント:島であるとかないとかいう前に、ぼくは映画自体が初めての経験なので、その緊張だけで大変でした。

スタッフ陣

映画のロケ隊はたくさん
スタッフも連れて来た
裏方さんだけでも数知れず：
一緒に魚も食った、肉も食つた
楽しかったなあ



桜井宏明
チーフ助監督
コメント：撮影はスムーズに行き、良い作
品になったと思う。モイカがつれなかった
のが心残りです。



セカンド助監督 山田一洋



メイク 細倉明日歌



メイク助手 庄司ありさ

コメント：通りすがりの人が「こんにちは」と言ってくれて、とてもいい印象です。映画は初めてだったけど、すごく面白いです。キャストがリラックスできる場を作つてあげればよかったと反省します。



マネージャー 鈴木悌史
(櫻井)



JR 都田忠邦



制作担当 高見明夫



呉市元FC 兼光 賢
コメント：FCより御手洗の皆さん
のおかげで撮影がスムーズ
に行き、大助かりです。



車両 矢島寛之



照明助手 牧田文洋



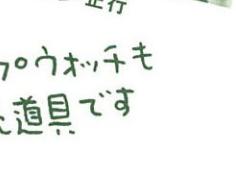
マネージャー 松田奈々
(多岐川)



録音助手 山本弘樹



特機 多 正行



音響道具です



照明助手 鈴木秀之



スクリプター
湯澤ゆき



スタッフの内、今
音響道具です



照明技師 安河内 央之

コメント：照明というのは、広い場所は難
しいんです。だから若胡子屋はやりにく
いが大変でした。



美術 黒田享大

コメント：景観が独特でいいですね。中
途半端に古めかしい物を置いたりして、
いわゆる、作られた景観にしないほう
がいいですね。



プロデューサー 竹山昌利

コメント：御手洗には10年前に来てイメージが
残っていました。カメラアングルが自由に取り
やすくて、海と町の両方取れるアングルが可能
るのが魅力です。ただ、現代的な看板等が
邪魔になることがありますね。



録音技師 小川 武

コメント：町中静かで録音しやすかった。
逆に夜は虫の音がうるさかったけど…

海が見えるのは
いいなあ

撮影
佐々木原保志



御手洗が映画になった

「風町」として数多くの

シーンが撮影された「御手洗」には、

江戸時代の町並みや、

大正明治の建物が混在する。

どこか懐かしく、人々をそつと

癒してくれる町は、

映画の中でも登場人物たちを

優しく見守っていたに違いない。

③御手洗港

御手洗の海の玄関口。旅館からの景色や由香と越智が歩くシーンなど、さりげなく登場している。



①常盤町通り

町並み保存地区「御手洗」のメイン通り。一瞬江戸時代に迷い込んだ錯覚に陥る町並み。



②木村旅館

旅人が泊まった木村屋旅館は実在する御手洗の老舗旅館（名前もそのまま）。但し、現在は旅館ではなく、仕出し「むら吉」として営業されている。撮影では2階の客室も大活躍。



④江戸の雁木

由香と越智がスイカを食べるシーン。2人が座っている階段は江戸時代の雁木。左手に見える恵美須神社の鳥居は「縁結びの鳥居」として御手洗の観光スポットでもある。



⑤七卿館

江戸時代に長州へ落ちる三条実美らが泊まったと言われている庄屋跡。真鍋の家として撮影に使用された。



⑥越智医院

御手洗でも一際目を引く立派な洋館。映画では越智の診療所として撮影されるが、御手洗では本当に実存している。





16 おいらん坂

御手洗の町並みを一望できる「歴史の見える丘公園」に続く坂道。みかん畑の間を通る遊歩道は四季折々の風情が楽しめる。

15 千砂子波止

広島藩が1年の歳月をかけ築造した江戸時代の立派な波止。波止の付根に鶴と亀が彫られており、さすると不老長寿が叶うと云われている。



13 船宿跡

旅館というより仲買問屋の役割をしていた船宿。映画では喜助が北前船を作っているが、ここでは実際に模型の木造船を作る島の匠がいる。



10 若胡子屋跡

御手洗には江戸時代、旅人をもてなすお茶屋（遊郭）があり、この若胡子屋も広島藩公認の茶屋4軒のうちの一つ。現存する茶屋で日本最古のものと言われている。



9 郵便局前

若林が家族に手紙を出すシーンで、昔懐かしい丸型ボストンが登場する。

江戸時代の港町
御手洗のシンボル的存在



8 松浦時計店前

日本で最も古い時計店。昔は商店が多く、港に着く船の旅人たちで賑わった通り。赤い時計のソーデ看板が目印。

7 乙女座前

昭和初期に建てられたハイカラ劇場。昭和30年代まで映画館として利用されていた。平成14年に復元される。





旅の贈りもの

★0:00発

懐かしい名曲の数々にのせて
車窓に流れる
美しい日本の原風景
時を忘れ 心を溶かせる

旅列車の指定席へ！



■10月7日(土)より
広島「サロンシネマ」他、
全国各地で上映開始！

サロ・ンシネマ TEL 082-241-1781
※広電「鷹野橋」電停下車すぐ

「いい日旅立ち」「時代」「駅」：
懐かしい名曲が全編を彩る！
徳永英明が歌うのは、彼が本作のために書き下ろした「Happiness」と中島みゆきの名曲「時代」。そして、エンディングを飾る美しい名曲「いい日旅立ち」を歌うのは、山口百恵を敬愛する中森明菜。情感たっぷりの懐かしいメロディが感動を盛り上げる。

称ゴハチ」と、木目調を基本とした明治風客車「スハフ12・702」、一等展望車の「マイテ49-2」など、映画撮影のために特別に編成された列車が美しい景色を背景に力強く走ります。



御手洗が映画の舞台に。

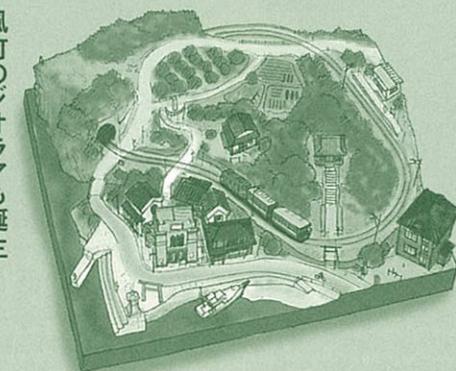
ストーリー

夜汽車のベルが鳴る——
いまハートフルな旅が始まる！

御手洗をはじめ叙情豊かな
西日本各地の風景と
幻の名列車ゴハチを堪能

偶数月の第3金曜日、深夜0時00分
に大阪駅を出発する3両編成の不思議
な列車。大勢の若い男女や、好奇心い
っぱいの中年女性たちで賑わう車内。
しかしそこには、それぞれ悩みを抱え
た5人の男女も乗り込んでいた。やが
て旅人たちが「風町」（御手洗が舞台と
なった町）という小さな港町に辿り着
く。旅たちはあてもなく、ただ何と
なく田舎道を歩き始める。一体ここで
彼らを待っているのは、どんな出会い、
そしてどんな出来事なのだろうか…？

旅の映画にふさ
わしく、西日本の
各地でロケを敢行。
岡山県・真鍋島、
島根県・益田市：
特に御手洗地区で



風町のジオラマも誕生

映画の舞台となつた風町とはこんな町だった。
実際の御手洗と比べるとおもしろい。

は「風町」として多くのシーンが撮影
されました。さらには戦後最高傑作と
称された名列車「EF58-150」（通

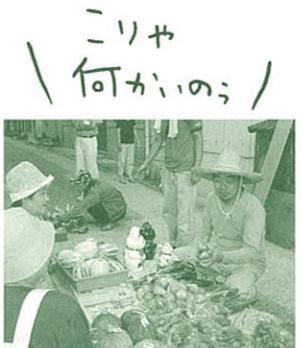
御手洗ものがたり⑯

「旅の贈りもの」 映画が教えてくれたもの



映画のスタッフと地元の住民との打ち上げ風景。
主演の櫻井淳子、徳永英明、多岐川華子も集まってくれた。

かつて御手洗に「悪霊島」という映画のロケ隊が来てかなり長いこと撮影をしています。あれはバブルの走りの頃で、ロケ隊もかなり予算があつたらしく、地元住民との交流会だの何だと理由をつけては一緒に酒を呑んだり、エキストラで出た町民に日当をくれたりと、たしかに、経済的な効果はありました。しかし、あのロケ隊が残していくものの一番大きなものは思い出です。多くの町民が共有できる思い出です。



「こりや何かいのう…」一瞬だが、地元の人間として登場した。

出演した人とワシはこんな話をしたとか、あんなことを一緒にやつたなどと今でも私たちは語り合うことがしばしばあります。そして、あの映画がテレビで再放送されるたびにその当時ことを思い出します。つまり、あの映画には私たちの何らかの「思い」が詰まっているのです。それを思い出して私たちは懐かしがつているのです。このように考えると、映画というのは製作スタッフの「思い」とロケ地住民の「思い」とが共同で創りあげる文化的作品であるという面が強くあるようです。



衣装のMさんが忘れていたスリッパ。

今回の「旅の贈りもの」のロケ隊のように予算の少ない映画では目に見える形での経済的効果は期待できません。今の時代、どんなロケ隊が来てもそれは同じでしょう。目先の利益としては

「旅の贈りもの」は私たちの作品のひとつとして、さらに御手洗の歴史のひとつとして誇るべきものとなりました。

（長濱要悟）

そうかもしませんが、角度を変えて長期的視野で映画制作ということを考えると、これは、ある地域がひとつつの映画作品をみんなで創りあげることなのです。

一本の映画を創る際、撮影、照明、録音を中心に美術、大道具、小道具、衣装、マイクなどたくさんのスタッフが働いています。この人たちとともに地元住民が製作に協力したり、エキストラとして出演したりするのは、御手洗と御手洗町民が映画という文化遺産をみんなで創りあげたということなのです。

「旅の贈りもの」が興行的に上手くいくのかどうか、私たちには想像もつきません。また、映画として良い作品であつたのかダメだったのか、私たちは判断することが出来ません。

しかしながら、「旅の贈りもの」の製作に私たちは深く関わり、御手洗が産んだ映画作品として、永く残っていきます。これはスタッフの皆さんと御手洗とが協同で創りあげた作品なのです。

ゆたかまち句集

平七

繪師一蝶うろ舟でゆく花の夜

生

をみなど云ふは数々あれど

青

付き添ひの妻の数へしアキアカネ晋

生

一万一千本の鞭振り

青

露の世に仮の宿して恋やせむ

晋

後生をろがむ玉垣あまた

爽やかや子らの聲して千砂子波止生
櫓太鼓は今も昔も

青

東風とともにゆつくり通る可能門晋

彼岸此岸をエンヤコラまた

生

千砂子波止で撮影をする
映画「旅の贈りもの」のロケ隊

俳句・和歌を募集中！

みなさまからの俳句、和歌を常時募集しています。

豊町に限らず、テーマは自由。

たくさんの投稿をお待ちしております。

[あて先]

〒734-0302 広島県呉市豊町御手洗

豊町観光協会「ゆたかまち句集」係まで



ゆたかまちなんでも伝言板



●瀬戸内海の島々をめぐる
せとうちおさんぽクルーズがパワーアップして再出航

毎年好評だった「せとうちおさん

ぱクルーズ」が、今年は選りすぐりの名所を巡るお得な日帰りツアーになりました！11月26日までの期間中、

毎週土・日曜日に出発。3つのコースのうち2つは町並み保存地区「御

手洗」に寄るプラン。帰発着港が宮島・広島・呉港と選べるのも嬉しい。瀬戸内海の幸も堪能できるこのツアーをお見逃し無く！

◎全コース 宮島港→広島港→呉港→

「音戸の瀬戸・安芸灘大橋」→AまたはBコース→呉港→広島港→宮島港

Aコース 大崎上島(きのえ温泉)と大崎下島(御手洗散策)

ホテル満風館にて瀬戸内会席と展望露天風呂を堪能した後、御手洗の町並みを散策(ボランティアガイド付)。
料金／大人9,500円
子供7,500円

Bコース 大三島(大山祇神社)と大崎下島(御手洗散策)

数々の国宝を宝蔵する大山祇神社に参拝後、せとうち茶屋にて昼食(牡蠣入りもぶりご飯がついた「しまなみうどん御膳」)。もちろん御手洗散策もあり。

料金／大人6,980円
子供5,980円

●「苗(みず)でみかん狩り ふる里の味を家庭に



たわわに実った観光農園の大長みかん。かつて沖友地区で出来たみかんは「天神みかん」と呼ばれていた。

- 場所／おさちゃん農園(豊町・沖友他)
開園時間／9時～15時
開園期間／10月下旬～12月上旬

※料金(入園料・みやげ付)／
中学生以上10,000円 小学生5,000円

※お持ち帰りは時価・要予約

下島・豊町は、広島県一の出荷量を誇る一大ブランド「大長みかん」誕生の地です。瀬戸の潮風と大自然の太陽に恵まれた土地柄で出来るみかんは、コクのある甘みとまるやかな色で島が黄金色に染まっています。みかんの色で島が黄金色に染まつたように見えるこの季節、もぎたて・プリプリの大長みかんを是非ご賞味ください。

TEL&FAX:0846-672278



●詳しくはお問い合わせください

瀬戸内海汽船トラベルサービス TEL:082-545-5501
HP:<http://www.setonaikaikisen.co.jp/>

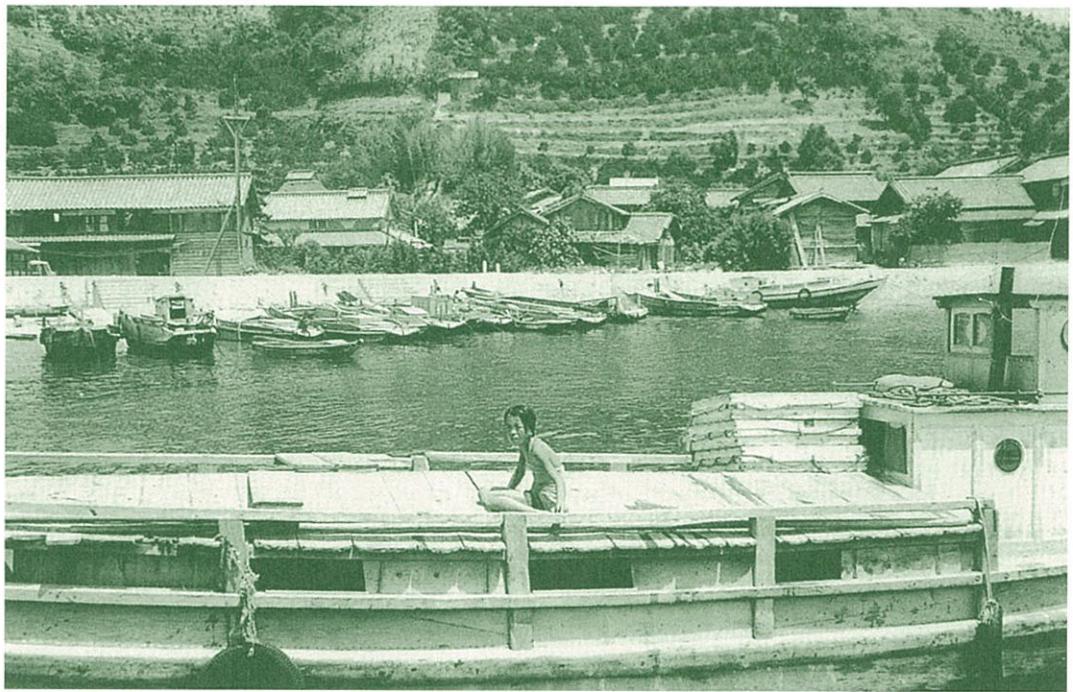


安芸灘交流館

【編集後記】

全国的にフィルムマッショニ(F.C.)の動きが活発である。なかにはロケ隊のフォローだけでは飽き足らず、映画を自主制作しようという所も現れた。映画という「作品」を地域みんなで創り、文化的な遺産にしようというねらいである。地域の誇りを「作品」という形で残そうといふものである。F.C.の本質として当然の動きであろう。(N)

●曲臣町観光協会からのお知らせ



ゆたがまち
あの日、あの頃、その②

久比小学校閉校記念写真集より

昭和28年頃の久比港

久比から三角島へは大正5年から三角便という渡船が就航。写真はその二代目。夏になると、船のそばで子どもたちがよく水あそびをしていた。



豊町(御手洗)への交通のご案内



- 今治から大長まで…高速艇で30分
- 竹原から大長まで…高速艇で30分
- 仁方から大長まで…高速艇で30分
- 三原から大長まで…高速艇で55分
- 呉から大長まで…高速艇で1時間
- 広島から大長まで…高速艇で1時間25分 (または) 高速バスと高速艇で約2時間
- 広島空港から大長まで…ジャンボタクシーと高速艇で約1時間30分
- 大長から御手洗まで…バスで3分 (または) 徒歩15分
- 大長から久比まで…バスで約10分 (または) レンタサイクルで20分
- 大長から沖友まで…バスで10分 (または) レンタサイクルで25分



観光案内(観光の問合せ・ガイド申込等)
■豊町観光協会(潮待ち館)
TEL・FAX 0846-67-2278